

馬堀中の生徒たちの企画が採用された「無人島文化祭」＝猿島



■よこすか・しようなん

東京湾唯一の自然島である横須賀市・猿島で3日、島の魅力をアピールする「無人島文化祭」が始まった。スタンプラリーや釣り体験など、同市立馬

堀中学校の生徒たちが企画した多彩なイベントが展開されている。最終日の4日はライブも予定している。
(佐藤 浩幸)

無人島文化祭

スタンプラリー 釣り体験：

初めての「文化祭」は、猿島への定期航路を運航しているトライアングルが主催。市や横須賀商工会議所などによる「よこすかキャリア教育推進事業」の一環として、2009年度に馬堀中の1年生(当時)たちが考案した猿島を活性化する企画を採用した。

ボードデッキを中心に行われたイベントは、ストーリーに沿って島の自然や歴史を体験できるスタンプラリー「バナナの皮を拾え」、市内事業者による讃岐うどんや焼きそば、フランクフルトなどの屋台、無料釣り体験など。中学生が発案した「猿島わかめ使用の「猿島チップス」の試食コーナー

も来島者の人気を集めた。穏やかな陽気の中、「猿島に元気を」とプリントされたジャンパーを着た馬堀中の生徒や教員計約40人も各イベントの手伝いで参加。ライブや屋台の発案にかかわったという小山良成さん(13)は「本当に実現すると思っていたなかったのでうれしい」と喜び、釣りの手伝いに励んでいた。

中学生アイデア 猿島の魅力PR